

OB NEWS

JAPAN PROFESSIONAL BASEBALL

社団法人全国野球振興会
(日本プロ野球OBクラブ)



©水島新司
全国野球振興会
イメージキャラクター
(1954年)

vol.48

2011-WINTER

あっぱれ 野球人生

～故 大沢啓二 名誉会長を偲んで～

大沢啓二氏(2010年10月7日 没)の永年の功績に深謝するとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

大沢名誉会長は、我々プロ野球OBの活躍の場を確立するべく各地へと奔走されました。野球界のみならずスポーツ界を盛り上げ、厳しくも愛情の込められた激励スタイルは多くのファンを生み、誰からも慕われる、まさに「親分」そのものでした。ここに感謝の気持ちを込めて「あっぱれ」三唱をしたいと思えます。大沢親分へ届くよう、大きな声で「あっぱれ」三唱をお願いいたします。

本当にありがとうございました。「あっぱれ」「あっぱれ」「あっぱれ」

黒江 透修

※10月13・14日 慶上光光園での追悼・告別式には2日間で約2,000人が参列。上写真は告別式での黒江委員長からの挨拶を後報掲載

■ 大沢名誉会長の思い出 ■

日曜日、テレビ番組「喝」「あっぱれ」でお世話になってから11年が経ちます。ご逝去に際し、非常に残念で悲しい思いをしました。大沢さんほど野球を愛し、野球界のことを想っていた人はいないでしょう。思い返せば出会いは52年前です。私が新人の頃、外野あたりで「お前か、張本というの。頑張れよ」と声をかけていただいたのが始まりでした。それから妙にかわいがっていたので、野球観も同様でときどき食事をしましたね。歌が好きで、お上手で、よく歌ってくれましたね。大沢さんの美声が聴けないのが残念です。プロ野球界のことは残った私どもが一生懸命発展につくしてまいります。合掌

張本 勲

親父がいなくなって、はや4ヵ月が過ぎました。時間が経つと存在の大きさを改めて思い知ります。淋しく感じます。自分の場合、人生の約半分を一緒に過ごしてきました。相談に乗ってもらい、時には相談相手になりました。天国ではどうしていますが、先に逝かれたOBの方々とか懐かしい昔の話をしているのではないですか。いずれは自分たちも仲間になります。それまでそちらで楽しく過ごしててください。自分にとってはあまりに大きな存在でした。親父ありがとう。

江夏 豊



■ 略歴

1932年 3月14日	神奈川県藤沢市生まれ
1952年	神奈川県立商工高等学校 卒業
1952年	立教大学 入学
1953年	東京六大学野球 優勝
1956年	南海ホークス 入団
1965年	東京オリオンズ 入団
1971年	同球団 監督就任
1976年	日本ハムファイターズ 監督就任
1981年	パ・リーグ 優勝
1985～92年	日本ハムファイターズ 球団常務取締役
1993～94年	同球団 監督復帰
1993年	新進打撃大賞 金賞受賞(「親分」)
1994年	ゆうもろ大賞 受賞
1996年	日本プロ野球OBクラブ 会長 就任
1997年	和歌文化大賞 受賞
1998年	社団法人全国野球振興会 初代理事長 就任
2005年	文部科学大臣顕彰 受賞
2005年	日本消防団連会長 就任
2008～09年	正力松太郎賞選考委員
2009年	社団法人全国野球振興会 名誉会長 就任



2006年 アジアシリーズ始球式



2008年 恒例の全国野球教室



1981年 初の名護キャンプ

日本プロ野球OBクラブ オフィシャルトレーディングカード

1977年編

メーカー希望小売価格

【1パック5枚入り】 500円(税別) / 525円(税込)
【1ボックス18パック入り】 9,000円(税別) / 9,450円(税込)

好評発売中!!

1977年編 カード種全 202種類

- 《レギュラーカード》
- レギュラーカード 52種 ■トピックス 10種 ■チェックリスト 1種
- 《インサートカード》 封入率:3パックに1枚の割合
- レギュラーパラレルミニカード 52種
- 《スペシャルインサートカード》 封入率:18パックに1枚の割合
- レギュラーパラレル直筆サインカード 41種 [シリアルNo. 入り / 80枚限定封入]
- 直筆サインカード 41種 [シリアルNo. 入り / 50枚限定封入]
- コンビネーション直筆サインカード 3種 [シリアルNo. 入り / 20枚限定封入]
- 直筆サイン入りフォトブレイク交換カード 1種 [6枚限定]
- 日本プロ野球OBクラブユニフォーム交換カード 1種 [5枚限定]

企画・制作: 社団法人全国野球振興会 (日本プロ野球OBクラブ)

販売元: エポック社



Authentic Combination Autograph
©1977 Central League Championship
AUTHENTIC COMBINATION AUTOGRAPH



歴史を語り広げたい
選手たちの
カードで運動



2010年 下半期活動報告

2011年も1ヵ月が経過し、本年度の事業を推進しております。
これもOB会員、関係者皆さまのご協力、ご支援の賜でございます。誠にありがとうございます。
このページではマルハンドリームカップをメインに、会報誌未掲載の昨年度事業をお届け致します。



◆全国大会決勝戦◆

ナック	1	0	0	2	0	0	—	3
オートハウス	0	0	2	0	0	0	—	2

【ナック】前田真 一 濃添
【オート】田中、兼頭 一 得能
【三塁打】伊藤、西村(ナ) 田中(オ)

11月28日、東京ドームで行われた決勝戦は関西地区代表のナック(大阪)が中国・四国地区代表のオートハウス(愛媛)を下し、参加1,215チームの頂点に立った。
ウイニングボールを手にしたのは、この試合、最終回まで投げ切った前田真投手だった。4安打7奪三振2失点の好投。3回に相手打線に捕まり逆転を許すが、4回以降は二塁を踏まさぬ快投で味方打線の援護に応えた。前日の2試合は仕事



※決勝戦以外は11月27日(土)
球場 a: 川口市営球場 b: 朝霞中央公園野球場

のために試合を欠場。それだけに「東京ドームのマウンドに立たせてくれたチームのみんなのために、負られない」とこのゲームに集中していた。



オートハウス先発の田中

打線も前田真をもち立てる。初回、2番の伊藤が左中間への三塁打を放つと、続く山下の左犠飛で1点を先制。3回、オートハウスに逆転されるが、直後4回の攻撃で先頭打者の5番・西村が左越え三塁打。7番の阪本はキャッチャーへの小フライも、バウンドした打球を捕手が三塁へ悪送球し同点。さらにナックは四球などで2死二、三塁とする。1番の毛利が振り逃げ三振。相手の失策も重なり三塁走者の阪本が勝ち越しのホームを踏んだ。

逆転のオートハウス 打線振るわず

敗れたオートハウスは四国大会決勝や中国・四国大会決勝、さらに昨年覇者の塩尻路材野球クラブ(長野)と対戦した全国大会準決勝でも、逆転で東京ドームの舞台上に勝ち上がってきた。この試合も、1点を追う3回にピッチャーの田中が中越え三塁打でチームを奮起。すると、3番・大石の左前打などで一度は試合をひっくり返したが、4回以降は打線が沈黙。守備でも要所でミスが続くなど惜敗した。

ドリームマッチは 田中一徳が逆転サヨナラ三塁打

マルハン覇者・ナックとプロ野球OBチームが対戦したドリームマッチは、劇的な幕切れとなった。



5回に登板の西崎幸広氏

OBチームは2-3の最終回、先頭打者の佐々木誠(元ダイエー)が死球で出塁すると、代打の屋鋪要(元巨人)が右前打を放ち、1死一、二塁とサヨナラのチャンス。続くバッターは今回初めてプロOBチームに加わった田中一徳(元横浜)。ここまで3打数ノーヒットも3球目をライトに運び、走者一掃のサヨナラ三塁打。最後に勝負強さを魅せつけた。投げては5回から登板の西崎、若本勉の元日本ハムリレーで追加点を与えず、対戦成績を3勝1敗とした。ナックはマルハン決勝に続き、前田真投手が先発。「真後ろに飛んだファールチップにプロの迫力を感じました」と話したが、この試合もひとりで投げ切り、2試合で165球の力投。しかし、最後は元プロの前に力尽きた。



◆ドリームマッチ◆

ナック	0	0	1	2	0	0	0	3
OB	0	0	0	2	0	0	2x	4

【ナック】前田真 一 濃添、毛利、阪本
【OB】阿波野、佐藤(義)、佐野、野田、西崎、若本一 吉永、杉山
【二塁打】前田真(ナ) 【三塁打】阪本(ナ) 田中(OB)

7月

8月

9月

10月

11月

12月

さいたま市エンジョイ野球教室



7月3日(土)、市営浦和球場にて行われたさいたま市主催の障害者スポーツ教室「野球競技」に、当会から新井克太郎氏(元大洋)、古川慎一氏(元ロッテ)の講師2名を派遣。炎天下、参加者は暑さに負けず、2時間半の野球教室を思いっきり楽しんでいました。

関東&九州ゴルフコンペ

関東地区は9月27日に東松山カントリークラブ(埼玉県)にて開催。また、九州地区は11月24日に麻生飯塚ゴルフ倶楽部(福岡県)で行われ、現役選手などによる提供商品のオークション代金、チャリティーホールの総額から20万円を太宰府ライオンズクラブの社会貢献事業に寄付した。

野球指導者養成・認定制度事業(技術セミナー)

2015年度までを整備期間とし、ライセンス取得までの講座カリキュラム(単位制)、更新制度、関係機関との連携などを検討中。2011年度は、初級の養成カリキュラムを試験的に実施予定で、昨年度のセミナーに参加した受講者は、履修単位について特例を設ける見通しである。

東京ベースボールスクール



甲子園を目指す中学3年生限定の本格的野球教室で、今回が3度目の開催。受講者は3ヵ月間の教室で、野球技術やメンタル面なども学んだ。前半は川崎憲次郎氏が投手、鈴木健氏(ともに元ヤクルト)が野手を指導。後半は投手を松岡弘氏(元ヤクルト)、野手を屋鋪要氏(元巨人)が担当した。

「平成22年度 第2回総会」開催報告

昨年12月9日に東武ホテル レバンタ東京にて開催。正会員940名(出席77名、委任出席863名)の出席のもと、下記議案が全会一致で承認。

- 【決議事項】
- 第1号議案：平成22年度事業計画および収支予算の変更に関する件
 - 第2号議案：平成23年度事業計画および収支予算に関する件
 - ※事業計画については上記「事業計画書」、収支予算については下記「収支予算書」参照
 - 第3号議案：役員に関する件
 - 第4号議案：公益法人制度改革に関する件
 - 第5号議案：一般社団法人日本プロ野球OBクラブ支援センターに関する件
 - ※先に設立された「一般社団法人日本プロ野球OBクラブ支援センター」について、詳細は報告を併録し活動が承認された。
 - 第6号議案：経理に関する件
 - 第7号議案：その他に関する件

収支予算書 平成23年1月1日から平成23年12月31日まで (千円以下四捨)

事業活動収支の部	事業活動収入	事業活動支出	収支差額
1. 事業活動収入	10,600	6,000	4,600
1. 基本財産運用収入	10,000	6,000	4,000
2. 会費収入	16,170,000	15,150,000	1,020,000
正会員会費	11,220,000	10,200,000	1,020,000
賛助会員会費	4,950,000	4,950,000	0
3. 公益事業収入	27,955,000	26,202,000	▲1,247,000
全国少年少女野球教室	13,125,000	17,117,000	▲4,992,000
全国アマチュア野球指導者講習会	2,000,000	1,810,000	▲190,000
全日本野球会議	700,000	872,000	▲172,000
中学校軟式野球強化事業	0	0	0
日本高等学校野球連盟関連事業	2,189,000	2,189,000	0
野球指導者養成・認定事業	4,947,000	6,414,000	▲1,467,000
日本プロ野球OBクラブ杯	1,000,000	0	▲1,000,000
周年事業	4,000,000	0	▲4,000,000
4. 収益事業収入	226,819,000	185,631,000	▲41,188,000
各種少年野球教室	16,812,000	8,521,000	▲8,291,000
講演会	4,695,000	2,116,000	▲2,579,000
OBオールスターゲーム	11,403,000	0	▲11,403,000
肖像権使用事業	18,426,000	17,152,000	▲1,274,000
物品販売	1,068,000	800,000	▲268,000
スポーツフェア	85,328,000	85,330,000	▲2,000
広告宣伝	8,400,000	5,250,000	▲3,150,000
全国ベースボールトーナメント	79,210,000	85,000,000	▲6,790,000
東京ベースボールスクール	1,457,000	1,462,000	▲5,000
5. 寄付金収入	0	0	0
6. 補助金	12,500,000	10,000,000	▲2,500,000
日本野球機構	10,000,000	10,000,000	0
スポーツ振興くじ助成金	2,500,000	0	▲2,500,000
7. 雑収入	857,000	857,000	0
事業活動収入合計 (A)	288,311,000	239,846,000	▲48,465,000
1. 公益事業費	44,007,000	39,515,000	▲4,492,000
全国少年少女野球教室	16,625,000	17,561,000	▲936,000
全国アマチュア野球指導者講習会	5,100,000	5,134,000	▲34,000
全日本野球会議	810,000	827,000	▲17,000
中学校軟式野球強化事業	0	2,000,000	▲2,000,000
日本高等学校野球連盟関連事業	3,910,000	3,910,000	0
野球指導者養成・認定事業	9,168,000	8,583,000	▲585,000
日本プロ野球OBクラブ杯	5,000,000	1,500,000	▲3,500,000
周年事業	3,874,000	0	▲3,874,000
2. 収益事業費	148,325,000	120,809,000	▲27,516,000
各種少年野球教室	10,000,000	5,733,000	▲4,267,000
講演会	4,540,000	1,759,000	▲2,781,000
OBオールスターゲーム	10,403,000	203,000	▲10,200,000
肖像権使用事業	7,036,000	6,059,000	▲977,000
物品販売	51,000	1,000	▲949,000
スポーツフェア	53,328,000	53,330,000	▲2,000
広告宣伝	51,000	0	▲51,000
全国ベースボールトーナメント	62,210,000	53,000,000	▲9,210,000
東京ベースボールスクール	716,000	720,000	▲4,000
3. 経費	85,064,000	91,388,000	▲6,324,000
人件費	39,085,000	45,439,000	▲6,354,000
厚生費	6,401,000	0	▲6,401,000
アルバイト費	1,740,000	1,730,000	▲10,000
会議費	1,224,000	1,615,000	▲391,000
旅費交通費	2,048,000	1,537,000	▲511,000
宿泊交通費・役員等日当	9,411,000	10,158,000	▲747,000
損害保険料	794,000	780,000	▲14,000
通信費	3,608,000	3,311,000	▲297,000
租税公課	2,940,000	2,398,000	▲542,000
印刷製本費	4,286,000	3,428,000	▲858,000
家賃共益費	4,320,000	3,798,000	▲522,000
消耗品費	844,000	1,562,000	▲718,000
水道光熱費	790,000	711,000	▲79,000
雑費	1,896,000	2,155,000	▲259,000
雑損料	621,000	711,000	▲90,000
雑合費	134,000	3,000	▲131,000
支払手数料	3,060,000	6,262,000	▲3,202,000
新聞図書費	144,000	132,000	▲12,000
消耗什器備品費	100,000	400,000	▲300,000
広告宣伝費	909,000	738,000	▲171,000
調査研究	351,000	500,000	▲149,000
雑費	368,000	4,000,000	▲3,632,000
4. 法人税等	700,000	216,000	▲484,000
事業活動支出合計 (B)	278,096,000	251,904,000	▲26,192,000
事業活動収支差額 (A)-(B)	6,215,000	▲12,058,000	▲18,273,000

投資活動収支の部	0	82,025,000	▲82,025,000
投資活動収入	0	82,025,000	▲82,025,000
基本財産引当金取崩収入	0	20,254,000	▲20,254,000
遊藝場引当金取崩収入	0	974,000	▲974,000
現金等戻り収入	0	3,497,000	▲3,497,000
遊藝場引当金取崩収入	0	0	0
他会社からの繰入金収入	0	57,300,000	▲57,300,000
投資活動収入合計	0	82,025,000	▲82,025,000
投資活動支出	0	79,240,000	▲79,240,000
基本財産引当金取崩支出	0	20,000,000	▲20,000,000
遊藝場引当金取崩支出	0	500,000	▲500,000
現金等支出	0	1,440,000	▲1,440,000
遊藝場引当金取崩支出	0	0	0
他会社への繰入金支出	0	57,300,000	▲57,300,000
投資活動支出合計	0	79,240,000	▲79,240,000
投資活動収支差額	0	2,785,000	▲2,785,000
財務活動収支の部	0	4,000,000	▲4,000,000
財務活動収入	0	4,000,000	▲4,000,000
借入金収入	0	4,000,000	▲4,000,000
財務活動収入合計	0	4,000,000	▲4,000,000
財務活動支出	0	4,000,000	▲4,000,000
借入金返済支出	0	4,000,000	▲4,000,000
財務活動支出合計	0	4,000,000	▲4,000,000
財務活動収支差額	0	0	0
予当資産支出	0	6,215,000	▲6,215,000
当座預金	0	▲9,273,000	▲9,273,000
前払掛戻収支差額	31,547,000	40,820,000	▲9,273,000
次期繰越収支差額	31,547,000	31,547,000	0

1 借入金期間 〇円 2 債権負担額 〇円

事業計画書

- 事業(定款第4条)
- この法人は、定款第3条に定める目的を達成するために次の事業を行う。
- 野球に関する指導者の養成
 - 野球に関する技術指導
 - プロ・アマ交流に資する各種行事の開催
 - 全日本野球会議その他野球に関する団体との連携協力
 - 会報その他出版物の発行
 - その他目的達成のための必要な事業
- 各種事業概略
- 野球に関する指導者の養成
 - 全国アマチュア野球指導者講習会の開催
 - 野球指導者養成・認定制度整備事業の実施
 - 野球に関する技術指導
 - 全国少年少女野球教室の開催
 - 各種少年野球教室の開催
 - 東京ベースボールスクール
 - プロ・アマ交流に資する各種行事の開催
 - 全国アマチュア野球指導者講習会
 - 全日本野球会議
 - 日本高等学校野球連盟関連事業
 - 全日本野球会議その他野球に関する団体との連携協力
 - 全日本野球会議主催野球指導者講習会への講師派遣
 - 日本高等学校野球連盟関連事業の開催
 - 会報その他出版物の発行
 - 会報誌「OB NEWS」の発行
 - ホームページの制作・運営
 - 調査研究
 - その他目的達成のために必要な事業
 - 講演会への講師派遣
 - OBオールスターゲームの運営協力
 - 肖像権使用事業の運営
 - 野球指導者及事業の実施
 - 社会福祉施設等への訪問
 - 夢・未来応援プロジェクト「ブルベン」への講師派遣
 - 各種大会等への名誉選手(後援・協力など)
 - その他
 - 賛助会員、関係者、野球ファンとの交流会の開催
 - スポーツフェアへの運営協力
 - 広告宣伝
 - 物品販売
 - 全国ベースボールトーナメントの開催
 - 日本プロ野球OBクラブ杯

「感謝の集い」開催報告

代表幹事会、第2回総会終了後に「感謝の集い」を開催。村上雅則常務理事が司会を務め、はたけんじ氏によるものまねショーなどが行われました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



参加者全員によるじゃんけん大会

夢・未来応援プロジェクト「ブルベン」

「職場訪問」として2001年にスタートした本事業。これまでに39名の元プロ野球選手が先生となり、のべ277名の小・中学生へ夢に向かって頑張ること、精いっぱい生きることはなど、それぞれの想いを伝えてきました。2010年度も野球体育博物館の全面協力のもと、3校の生徒たちがOBを訪問。この事業が、生徒たちが夢の舞台上で活躍するための「きっかけ」になればと願っています。



「挑戦することが大切です。そして恥ずかしがらずに夢をドンドンと口に出して言ってみよう! 思っているだけでは、何も始まらないよ」と、桑田真澄講師(3月開催)



「どんな仕事についても、この仕事のことが楽しい!というところを見つけよう。中学生活も一緒に。ただ過ごすだけではもったいないよ」と、新浦壽夫講師(4月開催)



「困難に直面したとき、たくさんの工夫と誰よりも努力することで克服した。克服するんだ!という強い気持ちで自分はプロ野球選手になれたと思う」と、黒江透修講師(5月開催)

特別
連載

野球体育博物館

第7回

韓国ヘテ・タイガース三連覇記念球

韓国の野球は、1905年に現在のソウル市のYMCA(キリスト教青年会)で、アメリカ人宣教師のジレット氏が青年たちに伝えたのが最初だと言われています。プロ野球は1982年に始まり、今年は韓国プロ野球創設30回目のシーズンとなります。

写真のボールは、ヘテ・タイガースが3連覇を達成した1988年に作られた直径16.5cmの大きな記念球で、チームのオーナーはじめ、監督、選手のサインが印刷されています。ヘテは、光州市を本拠地として製薬会社が持っていたチームで、さらに翌年も優勝し、結局4連覇を達成しています。83年の初優勝、4連覇(86～89年)に続き、91、93、96、97年と1980、90年代に9回も優勝し強豪チームとして知られていました。その後、しばらく優勝から遠ざかっていましたが、2001年シーズン中に起亜自動車に買収され起亜タイガースとなり、2009年に12年ぶり通算10回目の優勝を果たしています。

1996～99年に中日ドラゴンズで活躍した宣銅烈(ソンドンヨル)投手は、韓国では1985年シーズン途中から95年までの11年間、ヘテ・タイガース一筋で、6回の優勝に貢献し、通算146勝40敗、132セーブ、奪三振1698、防御率1.20の大記録を残しており、このボールにもサインが印刷されています。



会報誌限定OBクラブプレミアムカード

当会設立15周年を記念して製作された「プロ野球OBクラブオフィシャルカードセット」と当会会報誌「OB NEWS」の限定コラボが実現。会報誌vol.45からvol.48までの4回にわたって、毎月1枚ずつ会報誌限定プレミアムカードをお届けします。

～「OBクラブオフィシャルカードセット」とは～



■各種講演会・野球教室

◆スポーツ選手活用体向上事業

10月から12月にかけて15カ所の会場に次の皆さんを講師として派遣しました。
大友 進、亀山 勇、川又米利、小早川毅彦、芝草宇宙、新浦壽夫、西岡幸広、野田浩司、坊西浩嗣、松井優典、松沼博久、三井浩二、南半礼豊、谷澤健一、吉永幸一郎

◆ユメノベースボールクラブ野球教室

12月、4カ所の会場に次の皆さんを講師として派遣。
川崎憲次郎、高橋星志、蓮川光男、坊西浩嗣、吉永幸一郎、若田健一

◆アマティエスポーツクラブ冬ツアー

12月、6カ所の会場に次の皆さんを講師として派遣しました。
亀山 勇、佐々木 誠、佐野慈紀、中田良弘、野田浩司、福岡 純

◆元プロ野球選手技術指導講習会

日程	会場	講師
11/6	尼崎球場(兵庫県)	有田修三、大石 清、定詰雅彦、山崎慎太郎
13	明石球場(兵庫県)	河村健一郎、内藤尚行、野田浩司、堤場秀孝
13・14	HARDOFFECOスタジアム(新潟県)	黒江透修、辻 恭彦、広野 功、松沼博久
13・14	浜山球場(島根県)	石橋 賢、鈴木伸良、南河時高、渡辺弘基
13・14	東北福祉大学(宮城県)	千田啓介、丹波健二、前田益徳、松岡功祐
14	長良川球場(岐阜県)	池谷公二郎、定詰雅彦、田中富生、和田 徹
23	姫路球場(兵庫県)	酒野孝基、庄司智久、中塚政幸、南河時高
27	アグリあなんスタジアム(徳島県)	大石 清、田中 誠、山崎慎太郎、渡辺弘基
27	宇都宮清原球場(栃木県)	河村健一郎、佐藤 洋、末次利光、中塚政幸
12/4	倉吉東高等学校(鳥取県)	鈴木伸良、関本四十四、内藤尚行、和田 徹
5	水戸市民球場(茨城県)	佐藤 洋、庄司智久、定詰雅彦、村上雅則

◆その他の野球教室

日程	名称	会場	講師
10/21	全日本野球会議	日本野球連盟(東京都千代田区)	森 徹
24	キャッチボールのできる公園づくりモデル事業	七宝焼アートヴィレッジ(愛知県あま市)	鹿島 忠、川又米利、小島弘務
31	J.COM少年野球教室	所沢航空記念公園野球場(埼玉県所沢市)	安藤信二、大塚光二、三井浩二
11/3	キャッチボールのできる公園づくりモデル事業	三重県宮北勢中央公園(三重県四日市市)	鹿島 忠、川又米利、彦野利勝
4	平成22年度日本体育協会公認コーチ養成講習会専門科目講習会	志太スタジアム(静岡県伊豆市)	広野 功、村上雅則
4	九州総合スポーツカレッジ野球専攻科 野球指導	九州総合スポーツカレッジ(大分県宇佐市)	島田 誠
27	東海南少年少女野球教室	東海南中学校(茨城県東海村)	松沼雅之、松本匡史、水上善雄
12/11	キャッチボールのできる公園づくりモデル事業	東とさわ中央公園(大阪府豊能町)	亀山 勇、佐野慈紀、中田良弘
11	中学生野球フォーラム 指導者講習会	開成山野球場室内練習場(福島県郡山市)	杉山真人、広野 功
12	野津田公園 元プロ野球選手による野球教室	野津田公園(東京都町田市)	川崎憲次郎、鈴木 健、屋鋪 要

◆その他の活動

日程	名称	会場	講師
11/9	四国・九州アイランドリーグAWARD2010	高松国際ホテル(香川県高松市)	田中 誠
12/5	スポーツファンフェスティバル2010トレカの祭典	池袋サンシャインシティ(東京都豊島区)	池永正明、蓮川光男、内藤尚行

■各種会議

日程	名称	会場	出席者
12/1	第4回 常務理事会	墨田総合体育館(東京都墨田区)	黒江透修、森 徹、池田哲雄、西田孝之、岡本伊三美、村上雅則
1	第2回 理事会	墨田総合体育館(東京都墨田区)	黒江透修、森 徹、池田哲雄、西田孝之、清見秀雄、岡本伊三美、村上雅則、土井 淳、金丸美智夫、鶴岡秀樹、定永昭紀、広野 功、三浦政基、道法孝典、夏目 進
9	都道府県幹事会	東武ホテル レバント東京(東京都墨田区)	黒江透修、森 徹、西田孝之、岡本伊三美、村上雅則、土井 淳、広野 功、有沢賢持、吉田克郎、小西秀明、小野木 孝、根本 学、五月女 豊、種部健康、矢作公一、千田啓介、寺沢高栄、坂巻 豊、野村 収、大滝信孝、田所善治郎、河村保彦、彦野利勝、谷本征一、森田通孝、千場崇永、川原龍之輔、西川克弘、木村竹志、黒坂幸夫、中塚義雄、渡辺弘基、田中 誠、白石静生、三浦政基、永射 保、松岡功祐、片岡光宗、森長 隆

■新入会員一覧

2010年12月末日現在

氏 名	代表出身球団	ポジション
田中 一徳	横 浜	外野手
住友 健人	ヤクルト	内野手
西山 秀二	巨 人	捕・内野手
元木 大介	巨 人	内・外野手
藤岡 寛生	巨 人	内・外野手
大津 一洋	西 武	投 手

■訃 報 謹んでお悔やみ申し上げます

2010年12月末日現在

氏 名	代表出身球団	逝去日	享年	生年
上地 英満	アトムズ	2009年11月 3日	59	1950
寺本 哲治	巨 人	2010年 2月	80	1929
瀬 藤平	日本ハム	2010年 3月25日	75	1934
中前 健児	大 毎	2010年 7月30日	65	1945
大沢 啓二	日本ハム	2010年10月 7日	78	1932
堀内 庄	巨 人	2010年10月27日	75	1935
高橋 勝	国 鉄	2010年11月20日	69	1941

編集・発行人：社団法人全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ) URL: www.obclub.or.jp E-mail: info@obclub.or.jp Blog: obclub-blog.com/

本部事務局：〒130-0012 東京都墨田区太平4-13-2 太平サクラビル2階 TEL: 03-3626-8911 FAX: 03-3626-8912 ※2010年6月、左記へ移転しました

[事務局より] 住所変更の際は、お手数ですが上記事務局までお知らせください 編集協力：株式会社IPA 発行日：2011年2月



Daiwa House®

大和ハウスグループ

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、

グループシンボル「エンドレスハート」に

お客様と私たちの永遠の絆と

私たちグループの連帯感を託しました。

人・街・暮らしの価値共創グループとして、

私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和ハウス工業株式会社

www.daiwahouse.co.jp

つきごまのデザイン一新

Tsukigoma Series

オニザキでは、創業55周年を迎えるにあたり、ご好評いただいています「つきごまシリーズ」のパッケージを一新いたしました。デザインは変わっても、愛され続けた風味や食感はこれまで通り。ご自宅はもちろん、贈り物としてもお使いください。

新たな魅力で登場。



株式会社 オニザキコーポレーションセールス

〒862-0951 熊本市上水前寺1-6-41 OCOビルディング

お電話
フリーダイヤル

0120-30-5050

サンジュマルのゴマゴマ

FAX
フリーダイヤル

0120-50-4141

ゴマ ヨイヨイ

インターネット

オニザキ

検索

<http://www.gomagoma.net/>

受付時間 / 【平日】9:00~20:00 【土日祝】9:00~17:30